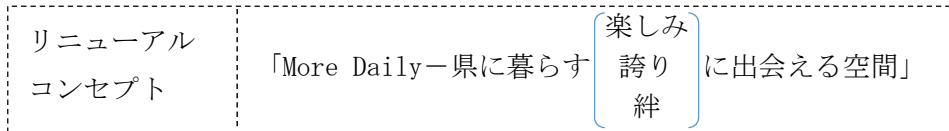


## アンテナショップ「ひろしま夢ぷらざ」のリニューアルについて

### 1 要旨・目的

県内小規模事業者が出展し、地域の特産品等を販売している「ひろしま夢ぷらざ」（平成11年開設、広島県商工会連合会が運営）のアンテナショップとしての機能強化に向け、新たなコンセプトに基づく店舗改装等を支援し、コロナ禍で売上が減少した小規模事業者等の事業継続を図ることにより、地域の活性化を図る。



### 2 現状・背景

「ひろしま夢ぷらざ」は、県内全域の小規模事業者の販路拡大につなげるため、販売力の一層の強化を図り、アンテナショップとしてのさらなる機能向上が求められている。

しかしながら、コロナ禍の影響の長期化により売上が減少しており、また、開設から20年以上が経過し、コロナ前から顕在化していた店舗運営面等を見直す必要がある。

このため、新たなコンセプトを設定するとともに、顧客層のターゲットを明確にして、リニューアルを行う。

### 3 概要

#### (1) 「ひろしま夢ぷらざ」のリニューアルの主な内容

リニューアルコンセプトを基調としつつ、10年、20年先を見据え、現在のメイン顧客層（60～70代女性）から新たなファン層を創出するため、本通商店街の通行客のボリュームゾーンであり、かつ購買力のある層である40～50代女性をメインターゲットとし、それに合わせてリニューアルを行う。

- 店舗レイアウトの見直し  
店頭催事コーナーを3か所（左右・中央）から2か所（左右）に絞ることで、店舗内への動線を太くし、商品の回転が速い弁当・ベーカリーなどの日配品を入り口付近へ、来店客がくつろげるイートインコーナーを店舗奥に新設する等、コーナーレイアウトを見直す。
- 陳列の工夫  
メインターゲット層からの要望が高いベーカリー等のデイリー商材を店舗入り口に配することで、入店を促し、来店頻度の向上を図る。  
地酒をはじめワイン、クラフトビール等の品揃えを強化するとともに、おつまみ等関連商品をグルーピングすることで、まとめ買いへの誘導を図る。
- サイン類の刷新  
看板デザインのアップデートを図り、本通商店街の通行客への訴求力を向上させる。  
煩雑にならないよう、店内サイン類も統一感を出し、洗練されたデザインを採用する。
- 演出・POPの更新  
店内内装は、黒系統の天井と白系統の壁面でシックな空間を演出するとともに、照明効果を活かすことにより、売り場の商品を引き立てる。  
また、床材や什器には柔らかい木目調カラーを採用し、おしゃれでカジュアル感のある雰囲気醸成することで、メインターゲットの呼び込み効果を高める。

#### (2) 商品開発等の支援

コロナ禍で売上が減少した小規模事業者を対象に、専門家を活用して、消費者に訴求するための商品開発や販売方法の見直しを支援する。

### 4 予算（国庫）

42,725千円

### 5 スケジュール

- 令和4年8月下旬～ 店舗改装工事
- 令和4年9月7日 リニューアルオープン

【参考】リニューアル後の店舗イメージ



【店舗内即食販売コーナー】



【店舗内イートインコーナー】



【地酒コーナー】



【店舗外観】